



Injection for Innovation

つなぎ、はぐくむ、日精のモノづくり

2018年3月期 決算説明

NISSEI
D

日精樹脂工業株式会社

2018年5月25日

2018年3月期 業績の概要

単位:百万円 ()内前期比

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 純利益
2018年3月期	42,321 (15.2%)	3,103 (23.0%)	3,354 (65.6%)	1,476 (0.6%)	73.85円
2017年3月期	36,730 (Δ4.1%)	2,522 (Δ6.9%)	2,025 (Δ4.9%)	1,467 (Δ40.6%)	73.45円

売上

- ・アジアを中心に需要が好調に推移し、射出成形機の販売が伸びたことなどから、売上高は前期比15.2%増の423億2千1百万円となった。

利益

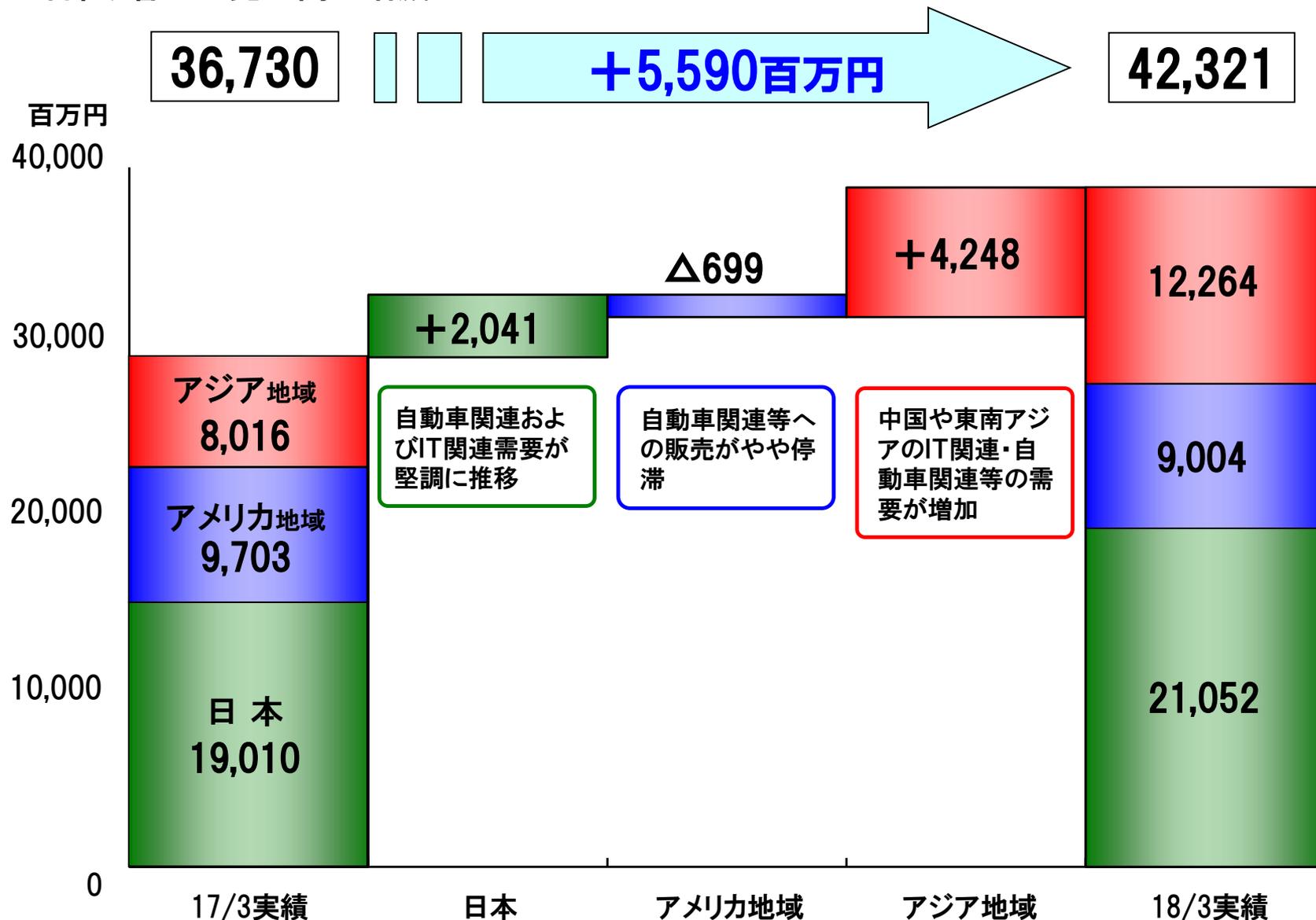
- ・営業利益は、前期比 23%増の 31億3百万円。
- ・経常利益は33億5千4百万円(前期比65.6%増)、固定資産の減損損失7億9千1百万円を計上したことなどにより、当期純利益は14億7千6百万円(同0.6%増)となった。

連結業績概要 [前期比及び計画差異]

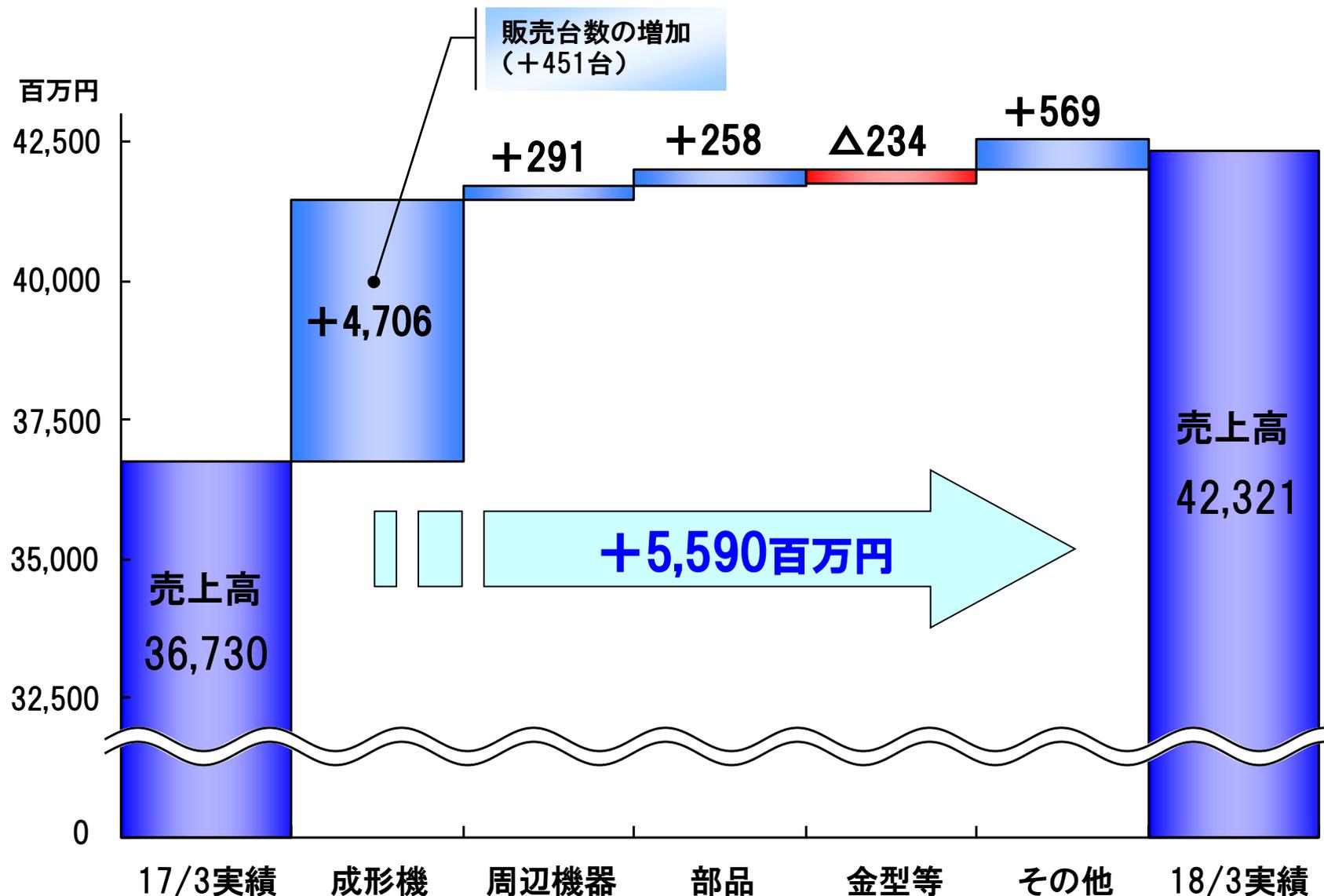
単位：百万円、比率%

	2017年3月期 実績	2018年3月期		対前期比		対計画比	
		計画	実績	差異	率	差異	率
射出成形機	27,638	31,000	32,344	4,706	17.0	1,344	4.3
周辺機器	2,710	2,800	3,001	291	10.7	201	7.2
部品	5,096	4,900	5,354	258	5.1	454	9.3
金型・中古機	1,285	1,300	1,050	△234	△18.3	△249	△19.2
その他			569	569		569	
売上高合計	36,730	40,000	42,321	5,590	15.2	2,321	5.8
売上総利益	10,775	11,400	12,030	1,255	11.7	630	5.5
一般管理販売費	8,252	8,400	8,927	674	8.2	527	6.3
営業利益	2,522	3,000	3,103	580	23.0	103	3.4
経常利益	2,025	3,150	3,354	1,329	65.6	204	6.5
親会社株主に帰属 する四半期純利益	1,467	2,050	1,476	8	0.6	△573	△28.0
国内販売台数	855	—	887	32	3.7	—	—
輸出販売台数	1,928	—	2,374	446	23.1	—	—
販売台数合計	2,783	3,273	3,261	478	17.2	△12	△0.4
生産台数合計	2,635	3,182	3,023	388	14.7	△159	△5.0

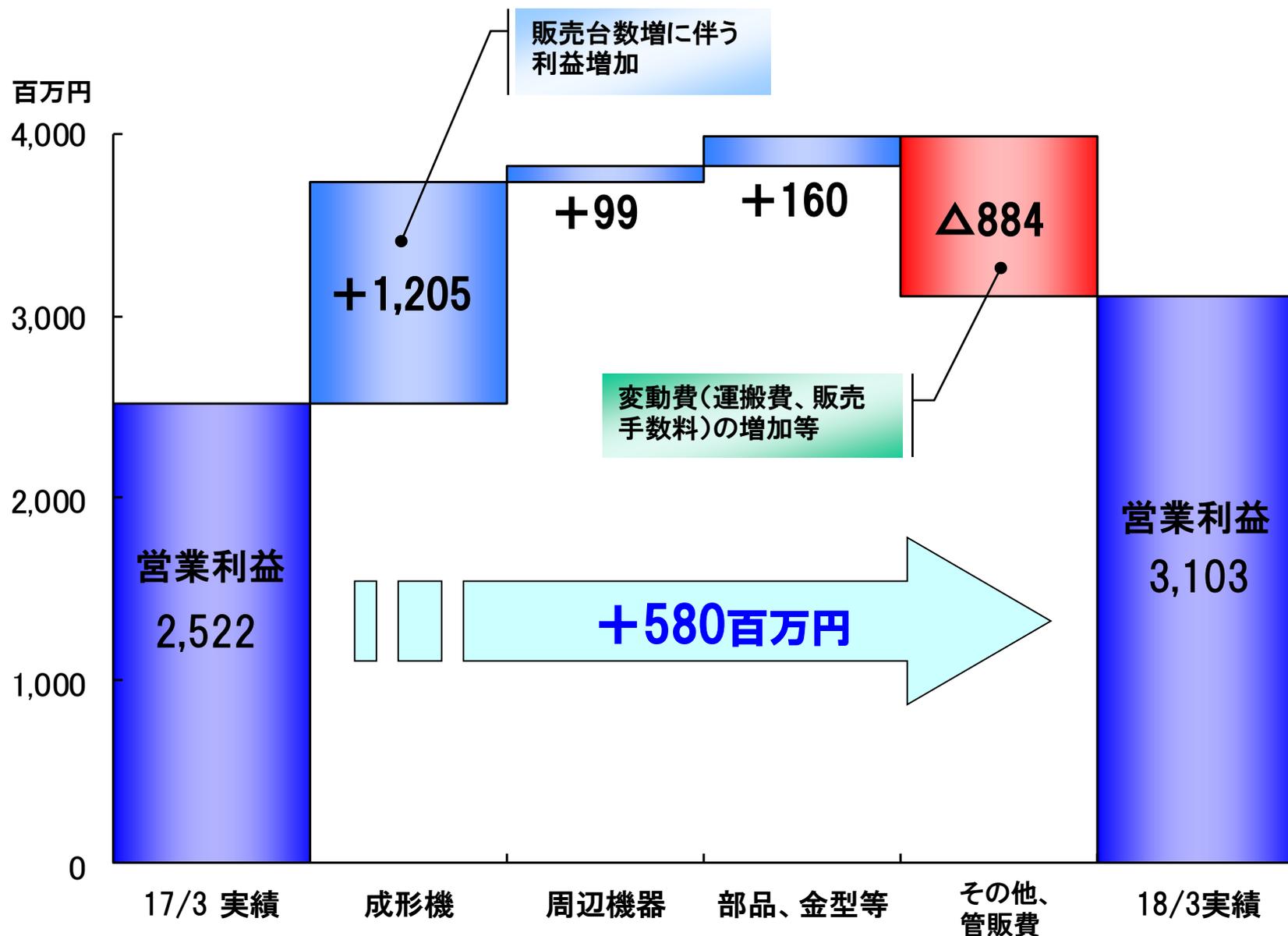
外部顧客への売上高の増減



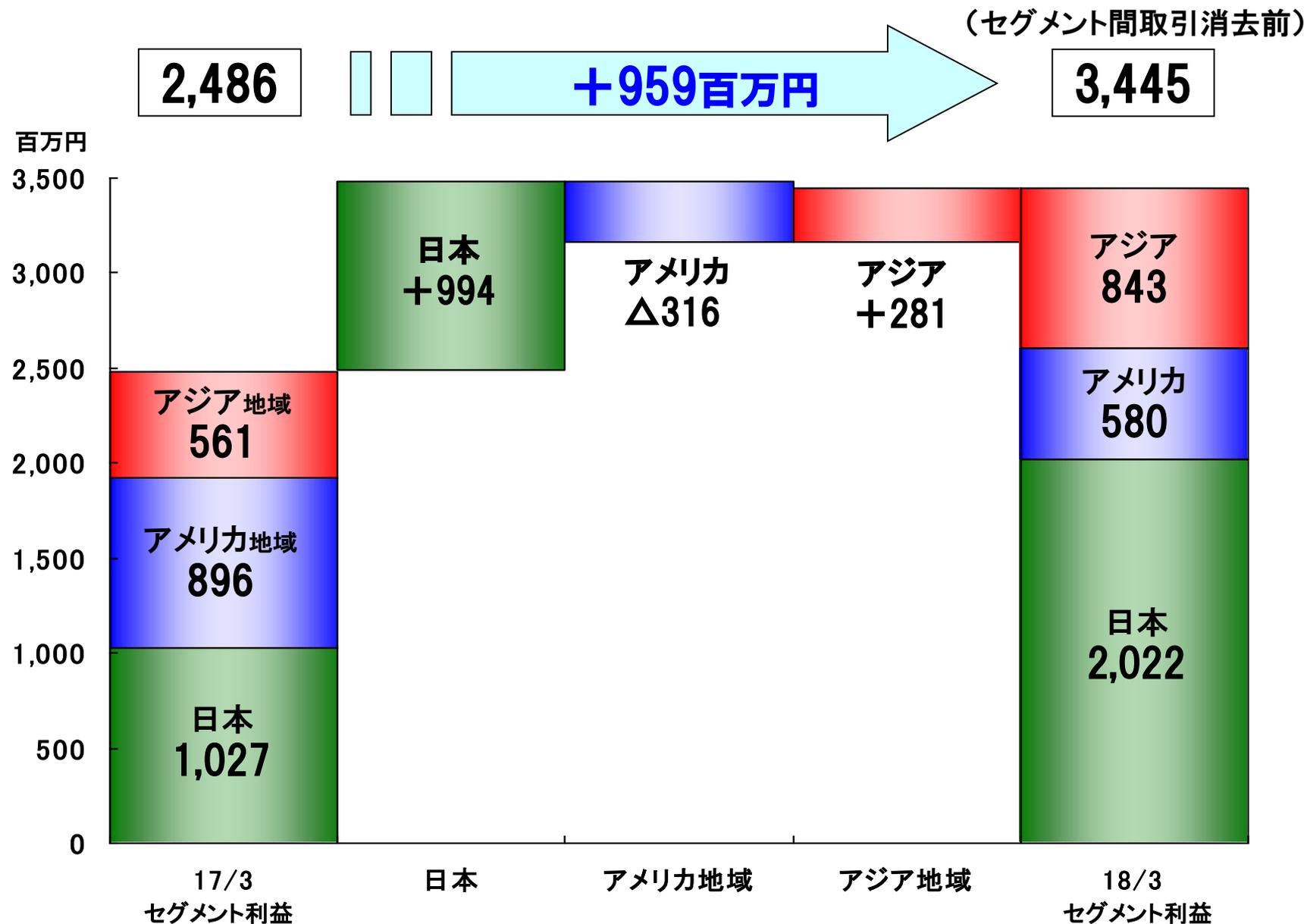
連結売上高(製品別)増減 [2017年3月期⇒2018年3月期]



連結営業利益(製品別)増減 [2017年3月期⇒2018年3月期]



連結営業利益(セグメント別)増減 [2017年3月期⇒2018年3月期]



連結営業利益 ～セグメント間取引消去

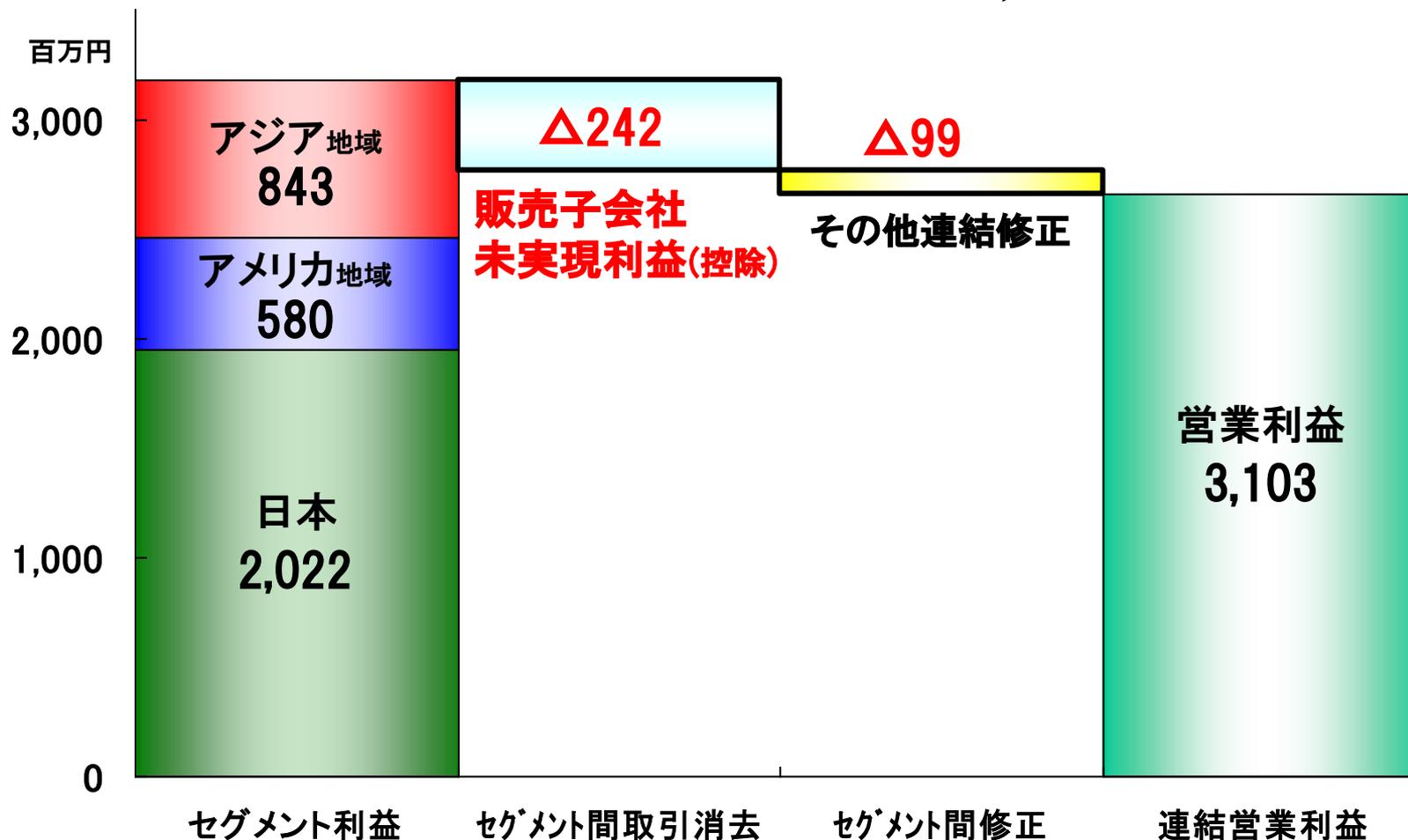
(セグメント間取引消去前)

3,445



(財務諸表 記載額)

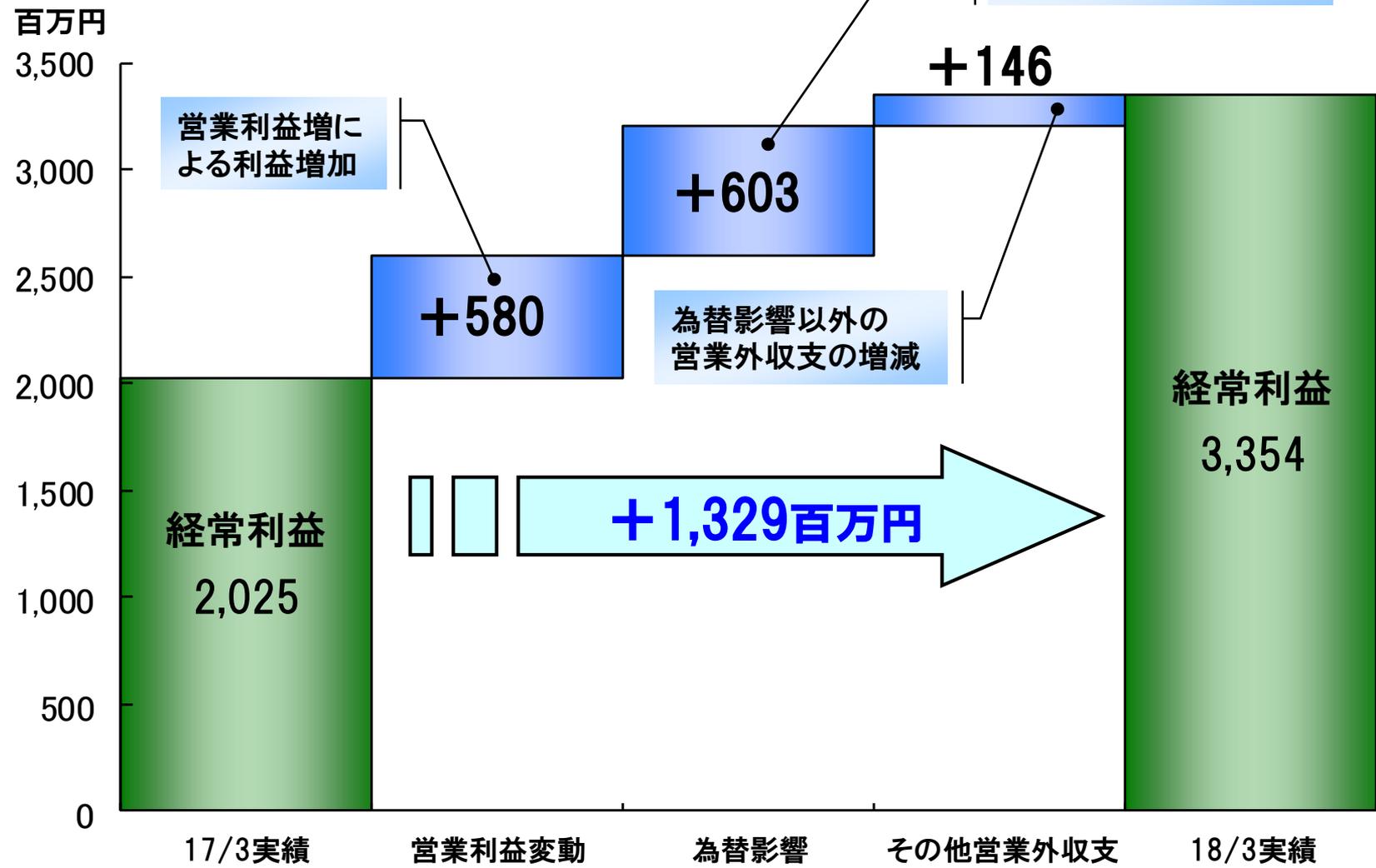
3,103



連結経常利益の増減 [2017年3月期⇒2018年3月期]

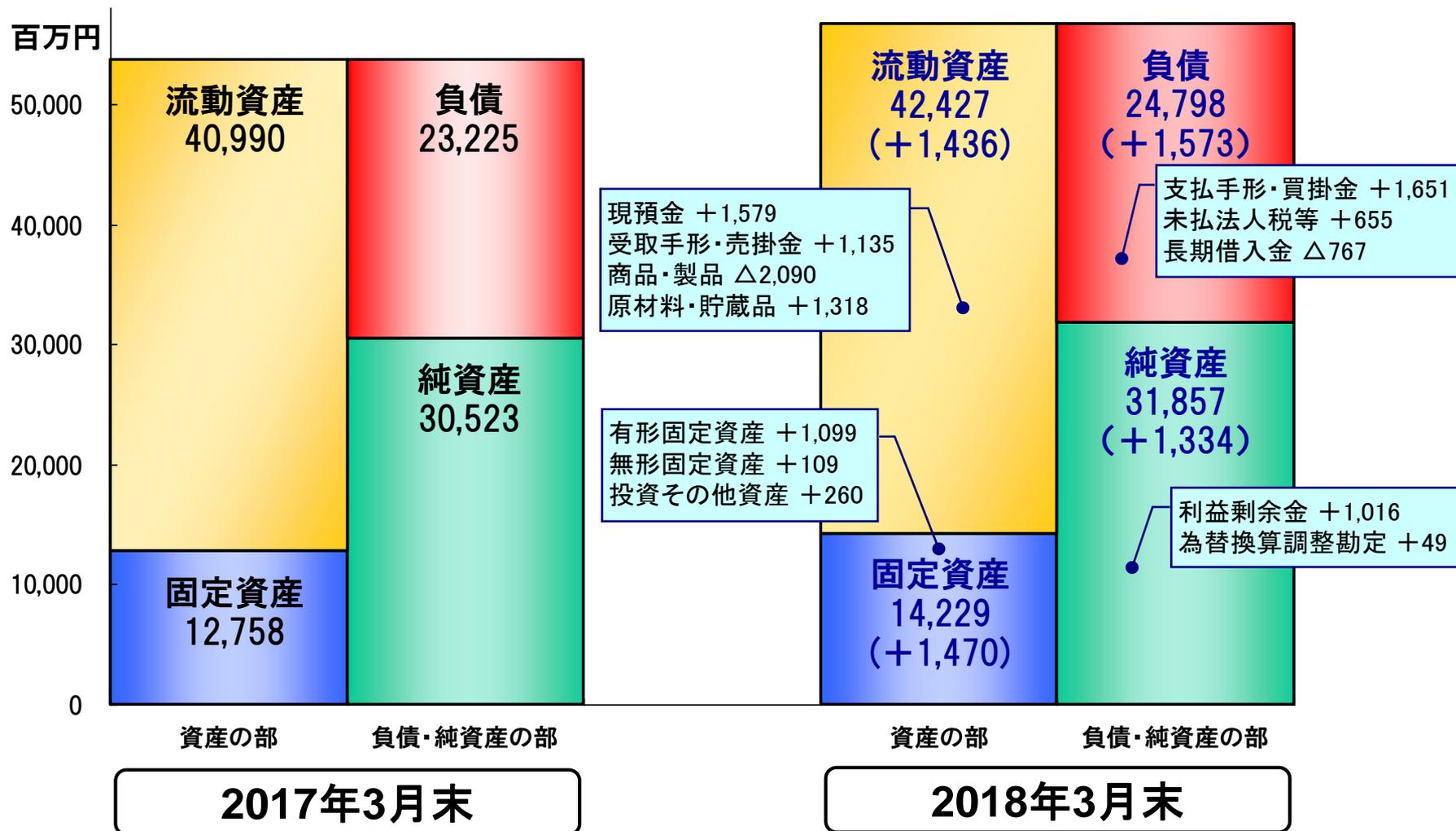
\$円レート: 17年 3月末 ¥112.19 ⇒ 18年 3月末 ¥106.24
 元円レート: 16年12月末 ¥16.76 ⇒ 17年12月末 ¥17.29

17/3期 為替差損 613
 ▼
 18/3期 為替差損 10

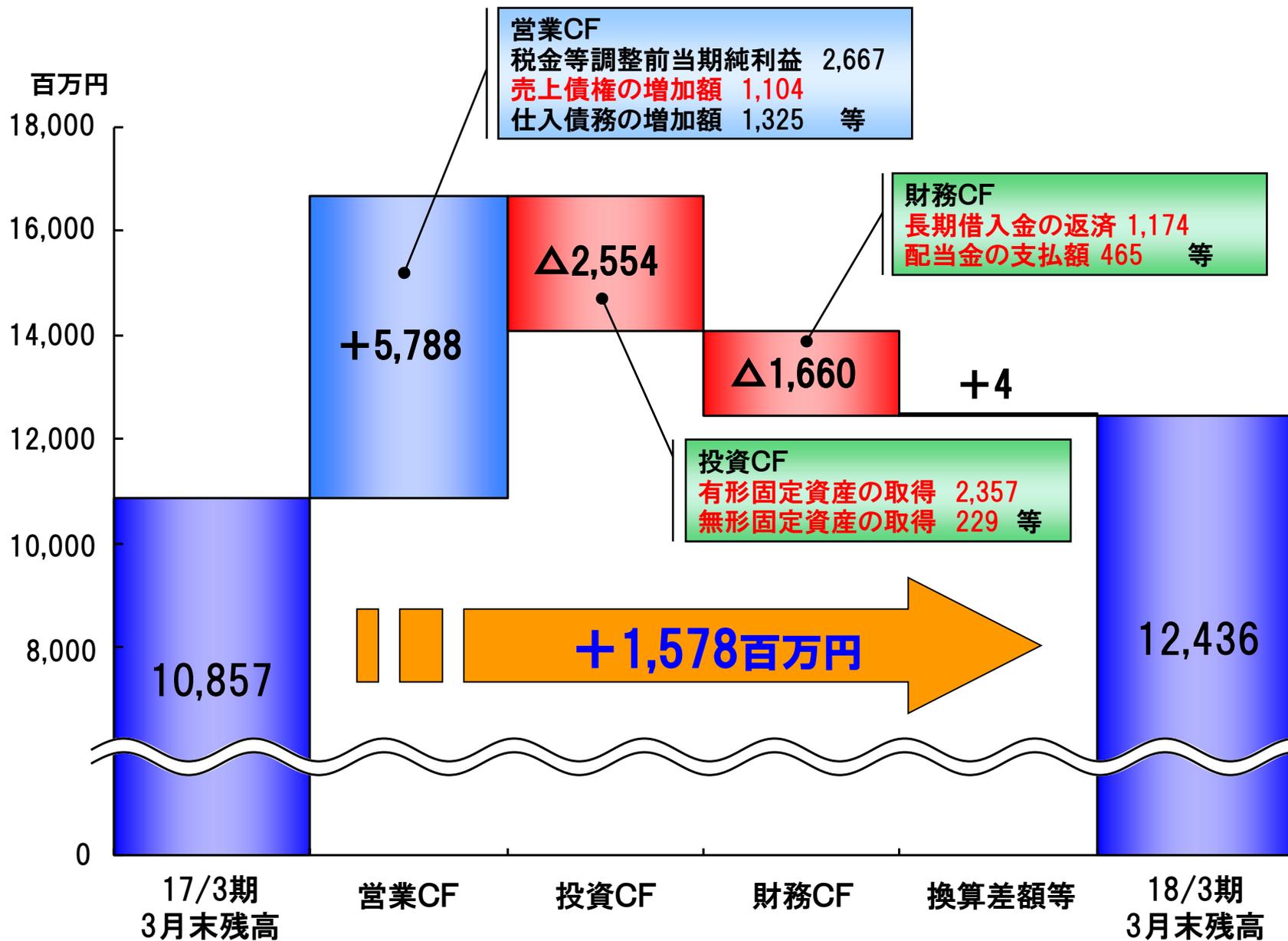


連結貸借対照表の増減 [2017年3月末⇒2018年3月末]

53,749 **+2,907百万円** 56,656



連結キャッシュフロー ～現金及び現金同等物の増減～

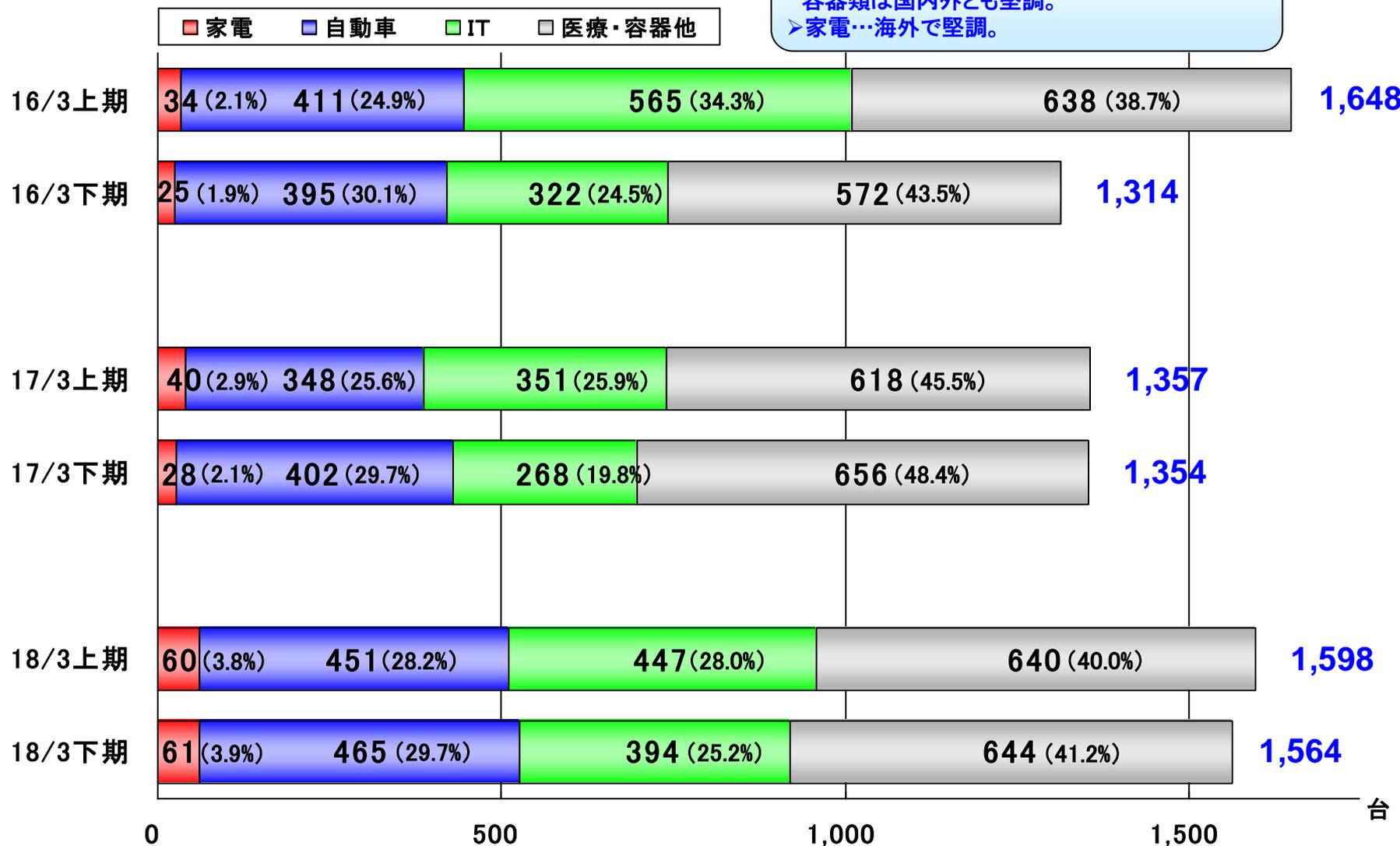


射出成形機の需要先別出荷台数推移(当社)

自動車関連、IT関連、医療・容器関連の3本柱が、出荷の大半を占めている。

2018年3月期

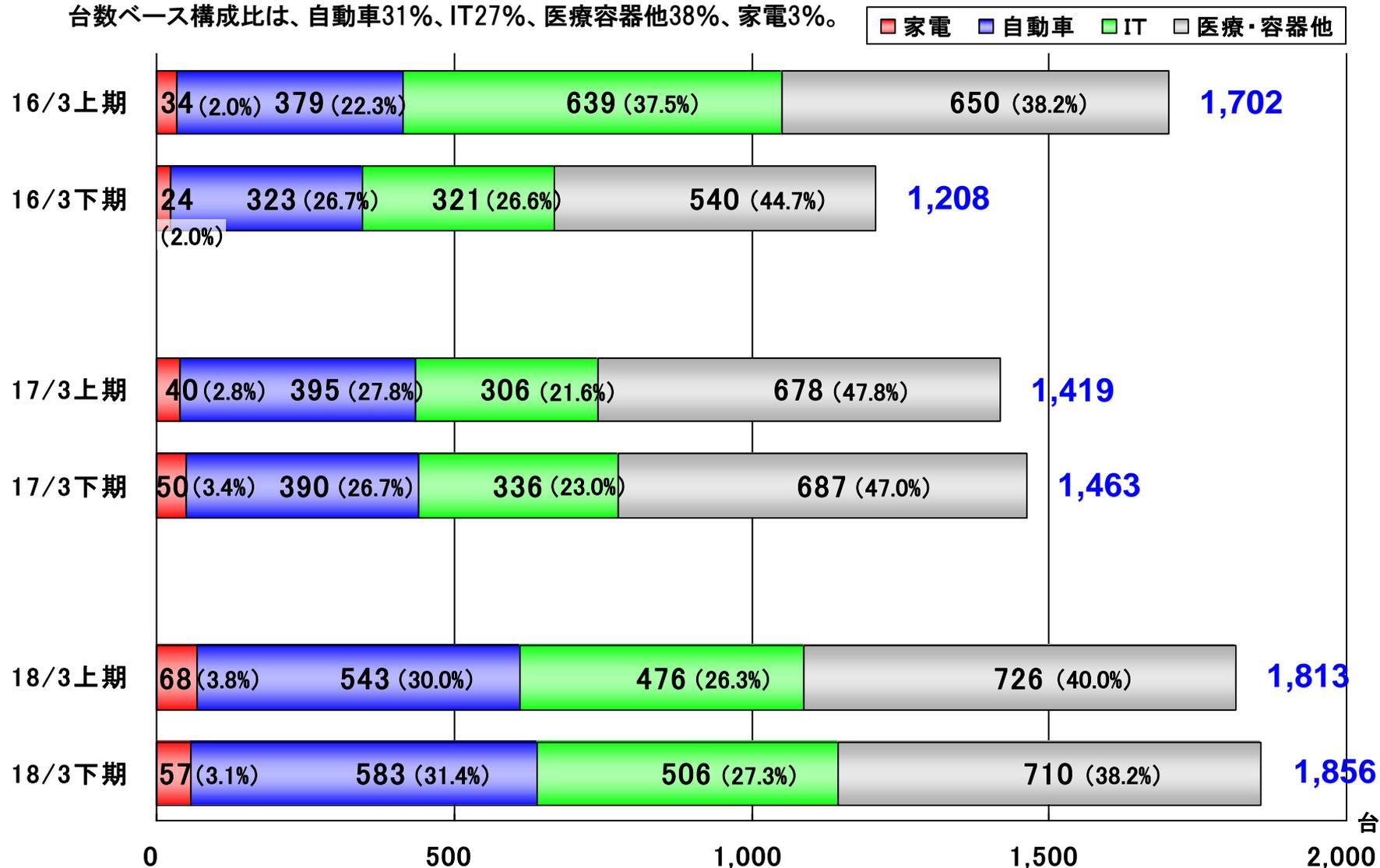
- 自動車…国内・海外とも堅調。
- IT…国内横這い、海外(特に中国)で好調。
- 医療・容器他…医療機器は国内外とも横ばい、容器類は国内外とも堅調。
- 家電…海外で堅調。



射出成形機の受注推移

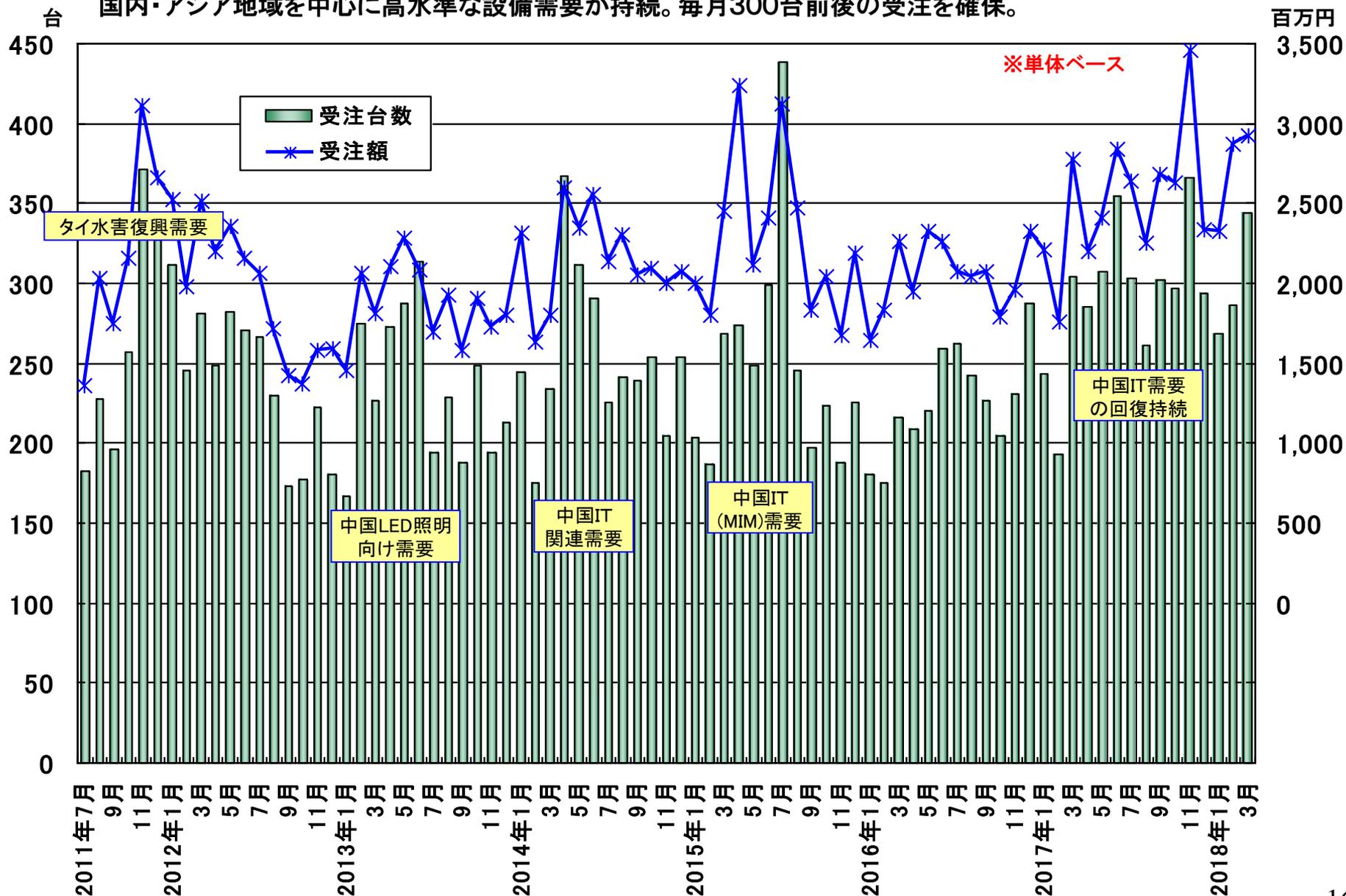
射出成形機の需要先別受注台数推移(当社)

・ 2018年3月期下期の受注は 1,856台。自動車関連や容器類、雑貨は引き続き堅調を維持。また、中国を中心としたIT関連も復調。
台数ベース構成比は、自動車31%、IT27%、医療容器他38%、家電3%。



射出成形機の地域別受注台数推移(当社)

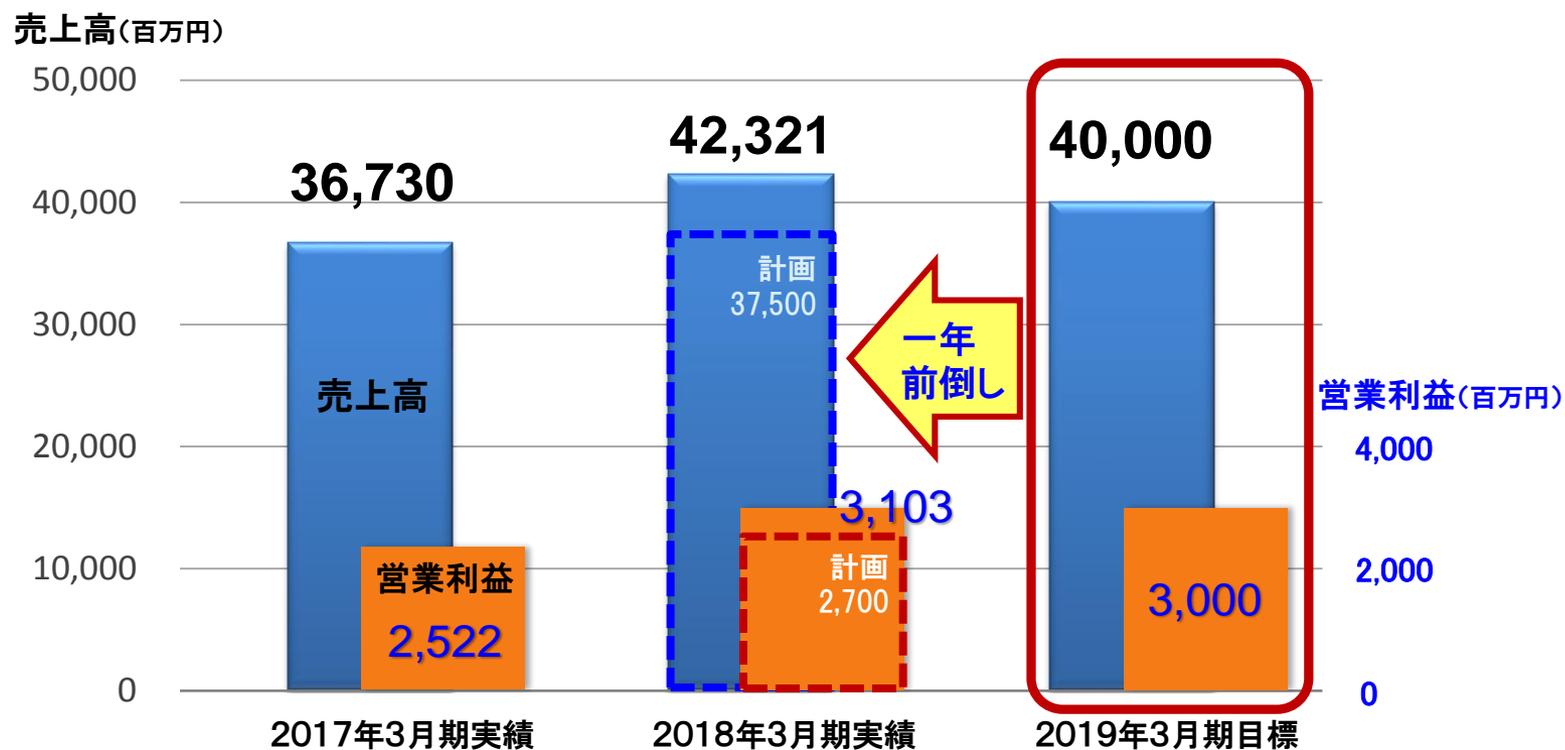
国内・アジア地域を中心に高水準な設備需要が持続。毎月300台前後の受注を確保。



2019年3月期計画について

経営方針

1. **真のグローバル経営の強化**
2. **グローバル市場への積極的展開による
販売増強**
3. **グローバル生産体制の強化**
4. **グローバルリスク管理体制の強化**



販売台数	2017年3月期実績	2018年3月期実績	2019年3月期目標
本社工場	1,763	2,023	2,130
中国(太倉)工場	712	937	730
タイ工場	236	301	330
合計	2,711	3,261	3,190

単位：百万円、比率%

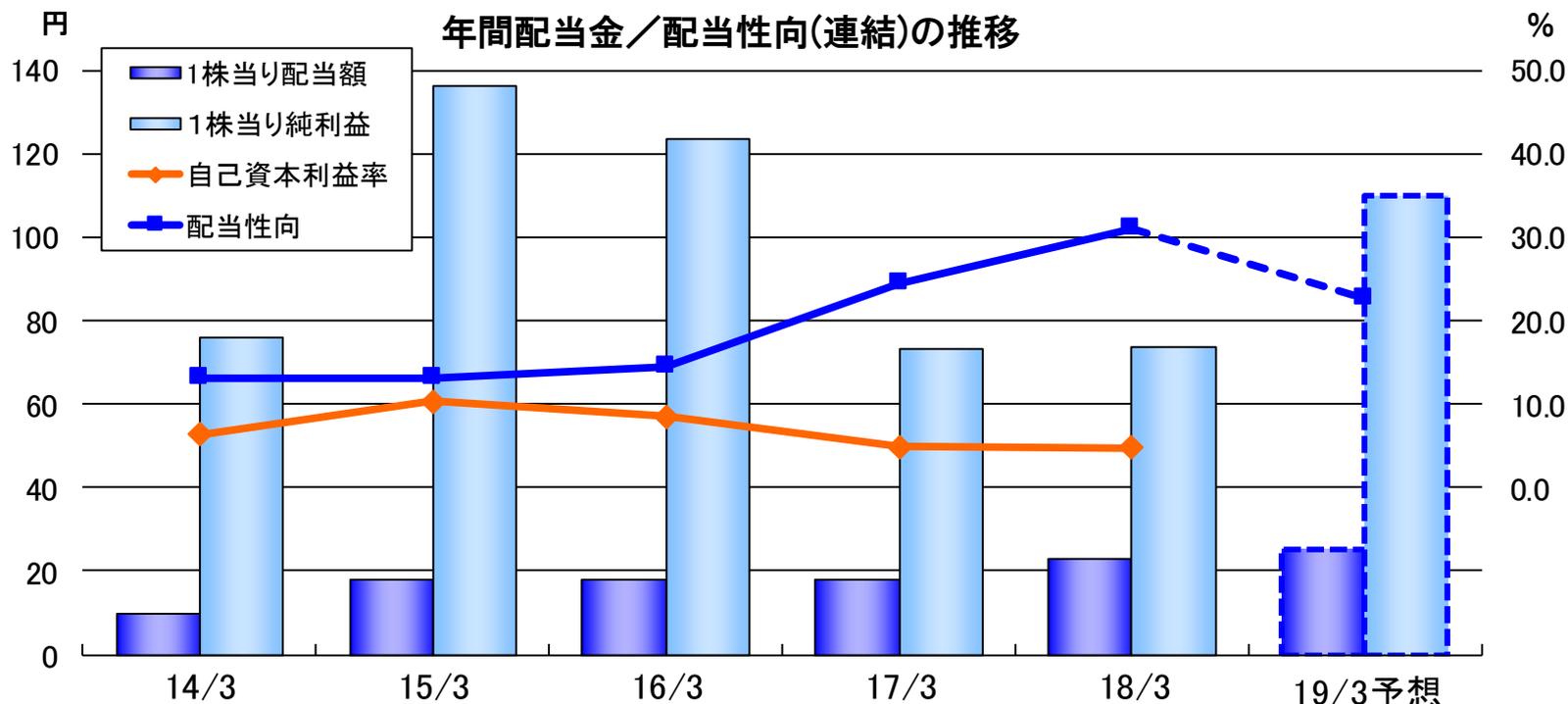
	2018/3期 実績	2019/3期 連結計画	
		通期	増減 %
売上高	42,321	45,500	7.5
営業利益	3,103	3,400	9.6
(利益率)	7.3	7.5	—
経常利益	3,354	3,500	4.3
(利益率)	7.9	7.7	—
当期純利益	1,476	2,200	49.0
(利益率)	3.5	4.8	—
販売台数	3,261	3,917	20.1
生産台数	3,023	3,917	29.6

2019年3月期 本社工場等で、内製化推進のためのQC棟建設・工場レイアウト変更、
 工作機械の新規導入・更新等を計画。

百万円

	2018年3月期 実績		2019年3月期 計画	
主な設備等	ソフトウェア(営業支援システム、他)	51	基幹システム サーバ更新、他	76
	ホンマ・マリナリー事業譲受費用	696	3D CAD関連費用	43
	タイ工場 工作機械取得	22	測定器更新	49
	米国工場 建設・設備費用	1,274	本社工場	
	本社工場 インフラ整備、他	46	QC棟建設・レイアウト変更	486
	金型製作	8	工作機械新規導入・更新	779
	車両取得	38	太倉工場 設備増強	400
	その他機械装置・維持投資等	275	タイ工場 設備機器	11
			日精ホンママシンリー 設備増強	400
			その他、維持投資等	157
設備投資総額	2,410		2,401	
本社出資	100			
減価償却費	773		835	
研究開発費	432		337	

・2019年3月期 年間配当は、1株について25.00円(中間10.00円、期末15.00円)を予定。



	2014/3月期	2015/3月期	2016/3月期	2017/3月期	2018/3月期	2019/3月期 (予想)
1株当り純利益	76.04円	136.54円	123.77円	73.45円	73.85円	110.07円(予)
1株当り配当額	10.00円	18.00円	18.00円	18.00円	23.00円(予)	25.00円(予)
中間配当	4.00円	5.00円	8.00円	8.00円	13.00円	10.00円(予)
期末配当	6.00円	13.00円	10.00円	10.00円	10.00円(予)	15.00円(予)
配当性向	13.2%	13.2%	14.5%	24.5%	31.1%	22.7%(予)
自己資本利益率	6.4%	10.4%	8.6%	4.9%	4.8%	

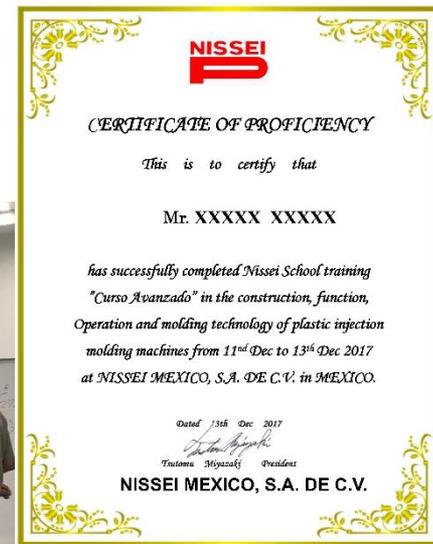
トピックス

メキシコ・ケレタロオフィスで日精スクールを開校



実技講習の様子

自動車関連を中心に成形加工ユーザーの進出が相次ぎ、現地工場スタッフの人材不足が顕著となっていたメキシコで、本年1月、射出成形に関する様々な技能や知識を習得するための教育研修機関「日精スクール」を開校。



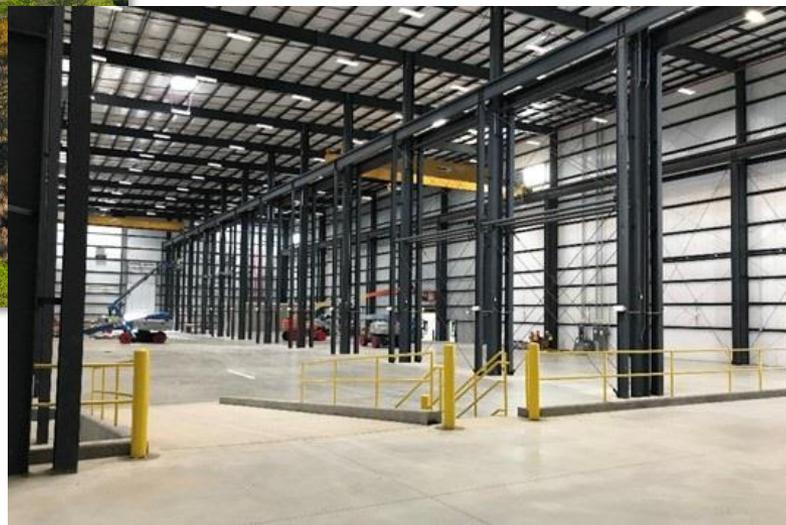
修了証

2018.1

3つ目の海外生産拠点『テキサス工場』が竣工



2016年12月に建設を着工した米国テキサス場が、本年2月に竣工。3月より稼動を開始しました。



2018.2.26

米国テキサス工場で開所式を開催



3月より稼動を開始した米国テキサス工場で、5月14日開所式を開催。200名近くのお客様に新工場をご見学いただいた後、近隣のホテルに場所を移し、式典・パーティを執り行いました。

2018.5.14

低圧成形システム「N-SAPLI™」の ステップアップセミナーを開催



当社独自の低圧成形システム『N-SAPLI』の有効性をご理解いただき、同システムを導入いただいているお客様を対象としたステップアップセミナーを開催。



2018.4.17

Chinaplas2018に出展 (第31回中国国際プラスチック・ゴム工業展示会)

国際橡塑展



世界の工場であり巨大な消費地でもある中国市場において、主要業種の自動車・電子部品・医療機器・化粧品容器業界をターゲットに、生産の自動化や成形品の高付加価値化をキーワードとしたソリューション技術を提案。



- ① 中型電気式成形機による自動化提案
(製品取出から自動組立てまで)
- ② 液状シリコンゴム専用機による防水用途
& 縦型機によるインサート成形を提案

太倉製電気式射出成形機
NEX220III T-50E

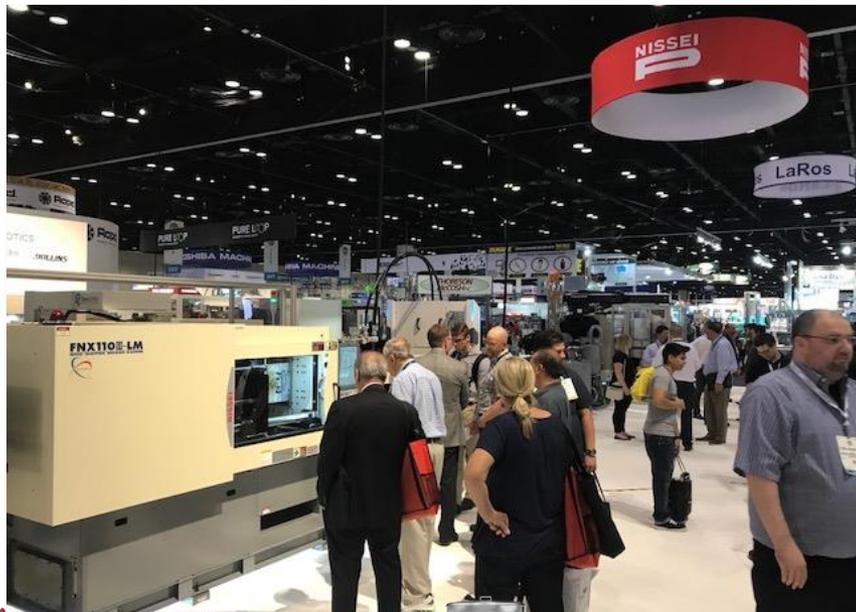
2018.4.24-27

NPE2018展(米国)に出展



THE PLASTICS SHOW

北米最大のプラスチック関連展示会に最新の射出成形機7台を出展。自動車や容器・日用品等の主要業種に向けたターンキーシステム、医療機器分野への小物精密成形、成形設備のダウンサイジング化、IoT時代への対応などのソリューション技術を提案。



ハイブリッド式射出成形機
FNX460Ⅲ-160A



電気式射出成形機
NEX360Ⅲ-100E

2018.5.7-11

SDGs実現に向けて 環境対応とプラスチック

ライフスタイル 2016年09月20日 00時58分 JST | 更新 2016年11月01日 15時43分 JST

世界初、フランス「プラスチック製使い捨て容器を禁止します」

Dominique Mosbergen The Huffington Post



(GETTY IMAGES)

プラスチックカップにワインを注いでピクニック— そんな風景がフランスで見られなくなるかもしれない。

世界初となる「プラスチック製使い捨て容器や食器を禁止する法律」が、フランスで2020年1月1日から施行される、とAP通信が報じた。

英政府、プラスチック製ストローやマドラーの禁止を提案

4/20(金) 10:54配信

CNN.co.jp



ロンドン（CNN） 英政府はこのほど、プラスチックごみを減らして海洋環境や海洋生物を守るため、プラスチック製のストローやマドラー、綿棒の使用を禁止する計画を打ち出した。

写真特集：自己修復するプラスチック

英政府がプラスチック製ストローやマドラーの禁止を提案

メイ首相は19日に始まった英連邦の首脳会合でも、プラスチック汚染対策に加わるよう各国に呼びかける。

さらに、世界的な研究や途上国の廃棄物管理改善を促すため、6140万ポンド（約93億円）を拠出すると表明した。

マイケル・ゴープ環境相は年内に審議会を立ち上げ、プラスチックを使った綿棒とマドラー、ストローを禁止する計画について審議する。業界には対応のための十分な猶予期間を与える一方、医療用のプラスチックストローについては除外を提案する。

ゴープ環境相は、「使い捨てのプラスチックが海に災いをもたらし、貴重な環境や野生生物の死を招いている。今こそ行動しなければならない」と力を込めた。

コカ・コーラ、100%植物由来素材のボトルを発表

2015.06.05 Fri posted at 13:03 JST

[PR]

・【生産性向上--バックオフィス編】現状維持では、成長は見込めない。いまこそ決断の時



コカ・コーラが発表した植物由来素材100%の「プラントボトル」=Coca-Cola

ニューヨーク（CNNMoney）米コカ・コーラはこのほど、イタリア北部ミラノで開催中の国際博覧会で、植物由来の素材100%の新型ボトルを発表した。

新しいボトルは、石油ではなくサトウキビを原料に作られたプラスチックでできている。

再生可能原料を容器に使う試みは以前から始まっていた。2009年にコカ・コーラは、植物由来のプラスチックを30%配合した「プラントボトル」を発表。だがサトウキビ由来のプラスチック100%のボトルは今回が初だ。

コカ・コーラによれば、材料のサトウキビは主にブラジル産で、インド産サトウキビの廃棄物も配合した。今後は果物の茎や皮、樹皮を利用することも検討しているという。

植物由来プラスチック100%のプラントボトルがいつごろ実用化されるのかは明らかになっていない。だが同社は「商業規模での生産に向け」、複数のバイオテクノロジー企業と提携しているという。

SDGs(持続可能な開発目標)

2015年9月に国連で採択された「持続可能な開発のための2030年
アジェンダ」に盛り込まれた世界を良くするための17の目標。
経済・社会・環境の三側面の向上を目指す中で、日精樹脂が主体的に
行動できることとは何か、真剣に考えてまいります。



The logo for the Sustainable Development Goals (SDGs) features the words "SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS" in a bold, blue, sans-serif font. The word "GOALS" is significantly larger than the others. The letter "O" in "GOALS" is replaced by a circular icon composed of 17 colored segments, each representing one of the 17 goals.

2030年に向けて
世界が合意した
「持続可能な開発目標」です

経営理念 “プラスチックをとおして人間社会を豊かにする”

そのために日精樹脂が出来ることは何か？

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標





日精樹脂工業株式会社

本資料に掲載されている当社の業績予想、見通し、重点戦略につきましては、現在入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想と異なる結果となる可能性があります。
